第２１６回

近畿地方交通審議会

神戸船員部会議事録

令和８年９月２４日

神戸運輸監理部

［第２１６回　近畿地方交通審議会　神戸船員部会議事録］

１．日　時　　令和８年９月２４日（金）　１０時３０分から
２．場　所　　神戸運輸監理部　調停室
３．出席者
（公 益 委 員）渕部会長、櫻庭委員（Ｗｅｂ）、石黒委員、寺尾委員
（労働者委員）山﨑委員、和田委員、中野委員
（使用者委員）南委員、加藤委員、山中委員
（運輸監理部）杉山海事振興部長、俵海事振興部次長
　　大當海上安全環境部調整官
（事　務　局）武津船員労政課長、鈴木船員職業安定係員
４．議　事
（１）　管内の雇用状況等について
（２）　船員に関する特定最低賃金の改正について
（３）　その他

５．閉　会

［ 議　事　概　要 ］

海事振興部次長

第２１６回近畿地方交通審議会神戸船員部会を開催します。

渕部会長、議事進行をお願いします。

部会長

皆様、本日も簡潔な議事運営に、ご協力をお願いします。

事務局から、委員の出欠状況及び資料の確認をお願いします。

海事振興部次長

本日は、オンライン出席の櫻庭委員を含め、全委員が出席されていますので、本部会は有効に成立していることを報告します。

【配布資料確認】

部会長

最初に、第２１５回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

資料１、議事録（案）をご確認ください。案のとおり承認してよろしいですか。

（異議なし）

部会長

異議なしということで、承認されたものとします。

続いて、議題（１）管内の雇用状況等について、事務局から説明願います。

船員労政課長

資料２に基づき、神戸管内の船員の雇用状況等について、説明します。

８月期の新規求人件数は１３件で、前月差▲３３件、前年同月差▲１７件、月間有効求人件数は８５件、前月差▲１件、前年同月差＋３件でした。

新規求職件数は９件で、前月差▲６件、前年同月差＋１件、月間有効求職件数は３１件、前月差＋３件、前年同月差＋３件でした。新規求職者平均年齢は４７．９歳。求職者最高年齢は７５歳で、７月に求職された方です。

求人側から見た成立件数は１件、求職側から見た成立件数は２件でした。詳細は、４頁の管内取扱求人者の成立一覧表をご覧ください。

８月の月間有効求人倍率は２．７４倍で、前月比▲０．３３ポイント、前年同月比▲０．１９ポイントでした。

２頁、新規求人１３件の内訳は、職員１０件、部員３件で、船種別では、液化ガスばら積船、ＲＯＲＯ船、コンテナ船を含む貨物船１１件、ハーバータグを含むそ

の他船舶２件、甲機別では、甲板部５件、機関部８件でした。

新規求職者９名の内訳は、職員８名、部員１名で、船種別では、自動車船、タンカー船を含む貨物船６名、旅客船２名、その他船舶１名、甲機別では、甲板部６名、機関部３名、年齢構成は、３０歳未満１名、３０歳代３名、５０歳代２名、６０歳以上３名でした。

３頁、求職者の離職理由は、自己都合２名、期間雇用１名、定年１名、その他５名でした。

５頁の紹介状況は、後ほどご覧ください。

１０頁、雇用保険失業等給付について、前月末現在受給者２名、８月中の新規受給者２名、合計４名ですが、その他１名は個人都合で認定日に出頭しなかったため、３名に基本手当として４６２，６９９円を支給しました。４名中１名が支給期間を満了し、その他１名は認定日に出頭しなかったため、月末現在受給者は２名となります。下段記載の支給はなく、合計４６２，６９９円を支給しています。

資料３は、海事局が取りまとめた全国の船員職業紹介実績一覧表です。７月分の実績は、新規求人件数１，２２３件、新規求職件数２６３件、有効求人倍率４．２１倍で、前月比▲０．１３ポイントでした。

部会長

ただいまの説明について、いかがですか。

労働者委員

求職者の９０歳の方が載っていませんが、どうなりましたか。

船員労政課長

有効期限が切れ、更新されなかったので載っていません。

労働者委員

２頁、外航船の新規求職者２名は近海を希望しているということですが、本人の希望はいかがですか。

船員労政課長

１名は全く経験のない方で、自動車運搬船やＲＯＲＯ船の甲板部員を希望されています。もう１名は１０年程度海上実歴があり、機関３級を持っていて、タンカーやケミカル船の一機士や機関長を希望されています。

労働者委員

外航船では近海でも甲板部員の求人はほとんどない一方、国内のカーフェリーやＲＯＲＯ船は、甲板部員での求職は可能性があると思いますが、説明されています

か。

船員労政課長

本人は未経験で免状等もないが雇用いただける会社を探しているとのことです。本人希望の外航近海の甲板部員の求人はあまりないこと、国内であれば未経験者の募集も多少はあることの説明をしています。

労働者委員

免許も経験もないけれども船に乗りたいということで、希望を聞くと、外航船の近海を出されたということですか。

船員労政課長

そうです。

部会長

神戸船員部会開催日程（案）について、事務局から説明願います。

海事振興部次長

先月の部会で仮決定された神戸船員部会開催日程案について、１０月から委員に就任いただく皆様に確認したところ、一部欠席となる日はありますが、開催要件を満たす出席をいただけることが確認できましたので、欠席となる委員には申し訳ありませんが、この日程でのご予定をお願いします。

部会長

皆様、よろしくお願いします。

議題（２）船員に関する特定最低賃金の改正について、事務局から説明願います。

海事振興部次長

資料４は、９月１５日現在の全国の最低賃金審議等状況です。意見聴取公示日は九州以外出揃いました。本資料はこの場限りのものとして取り扱い願います。

２頁、神戸分を黒枠で囲っていますが、９月１５日に、船員の特定賃金の改正の決定に関し、関係船員及び関係使用者の意見聴取に関する公示が行われました。

３頁、神戸管内の船員最低賃金専門部会の開催日程案です。皆様には予定確認にご協力いただき、ありがとうございました。１０月から委員に就任される方々にも伺っています。１回では結論が出ない場合に備え、２回目の開催日まで確保しています。また、委員の名前も手続中で指名前ではありますが、予定として記載しています。この日程でご予定をお願いします。

部会長

ただいまの説明について、いかがですか。

（なし）

部会長

議題（３）その他に移ります。委員の皆様から何かありましたら発言願います。

公益委員は、いかがですか。　（公益委員なし）

労働者委員は、いかがですか。　（労働者委員なし）

使用者委員は、いかがですか。　（使用者委員なし）

行政は、いかがですか。

海上安全環境部調整官

前回いただきました質問について、説明します。

外国船籍の旅客船は、日本船籍船で行われる夏季安全点検とは異なり、ＰＳＣによる検査の対象になっています。

神戸管内では、大阪・神戸と上海を結ぶ日中国際フェリーがありますが、この船舶は「Ｓｔａｎｄａｒｄ　Ｒｉｓｋ　Ｓｈｉｐ」に分類されており、通常は大体５か月から６か月ごとに検査を行うことになっています。現在は旅客の取扱いが行われてないことから、令和７年７月以降は、ＰＳＣの立入りは実施されていないと聞いています。

「Ｓｔａｎｄａｒｄ　Ｒｉｓｋ」の分類をどのように決めるかですが、この区分は船種、船齢、過去の検査実績などを総合評価して決定されるもので、この船舶は、「Ｓｔａｎｄａｒｄ　Ｒｉｓｋ　Ｓｈｉｐ」として取り扱われているということです。

日本と外国を結ぶ旅客定期航路の現況は、２０２５年版の海事レポートのとおり、全国で９社、対馬を１航路とカウントしますと６航路が運航されています。

さらに２０２６年からＹａｉｍａ　ＬｉｎｅのＹＡＩＭＡＭＡＲＵが石垣から基隆に運航開始されていますので、１０社７航路になります。

労働者委員

日本で安全に問題があるとされたクイーンビートルは、ここには出てこないのですか。実際にグレイス釜山として運航していますよね。

海上安全環境部調整官

２０２５年時点ではまだ入っていませんが、運航されるようになれば旧クイーンビートルもカウントされます。

クイーンビートルは、会社の運航管理上の安全に対する考え方が問題であったとのことです。

労働者委員

しかし浸水はするということで、日本では運航できないとなったと思いますが、どうですか。

海上安全環境部調整官

船自体が修理可能かどうかについては、運航会社のある韓国で判断されていたと思われますが、詳細についてはこちらでは情報がなく、分かりません。

労働者委員

小樽から内航船便乗型のサハリン航路は不定期ですか。また、稚内からサハリンへの航路についても教えてください。

海上安全環境部調整官

２０２５年時点ではありますが、海事局で把握しているものとなります。小樽、稚内～サハリン航路については、次回までに確認します。

部会長

外航であるので、ポート・ステート・コントロールでないと入れないという結論ですね。

労働者委員

客は船を選べません。安全基準の問題で、外国籍船なので外国の法律だけでよいとするのではなく、日本もある程度は管理する必要があるのではないでしょうか。旅客船ですから国民の命に関わる問題になります。外国籍船なので我が国は知らないというのはいかがなものかと、意見しておきます。

部会長

ポート・ステート・コントロールが、１回目にしっかり見てほしいところです。

海事振興部次長

船員部会資料をご覧ください。

現在募集中のパブリックコメントで紹介するものはありません。

本省プレスリリースは４件で、１件目は、令和７年度の海上輸送の安全に関する情報を公表したものです。２件目は、船舶へのモーダルシフトを検討いただくための航路情報等のデータなどを公表したものです。３件目は、今年度の船員安全・労働環境大賞を決定し、９月９日に表彰授与式が開催されたことのお知らせです。４件目は、海技者セミナーを明日９月２５日に今治で開催する案内です。今後１２月

１２日に静岡で開催予定となっています。

当運輸監理部のプレスリリースは２件で、１件目は、海技者セミナーを令和９年２月６日に神戸国際展示場で開催するため、参加企業を募集する案内です。２件目は、９月の船員労働安全衛生月間に行う取組概要の案内です。

その他、７月の内航海運輸送動向、８月の月例経済報告、参考に令和９年度海事局関係予算概算要求概要をお付けしています。

部会長

ただいまの説明について、ご意見等がありましたら、お願いします。

労働者委員

船員安全・労働環境大賞の辰巳商会の実践型練習船で、定員の話が出ています。５１０トンまで有するのは部屋を多くして船員を育てることを前提にしていますが１０トン増やして３つも４つも部屋を作れるわけがなく、多くて２つだと思います。どこを走る船なのかも分からないので、何をもっての元の定員なのか分かりません。「法定定員外に」という書き方をしていますが、元々どういう設定をしているのか教えてください。

部会長

このサイズの船でも、そういう部屋をつくったところがポイントなのですね。

どんなような居住空間なのかも、情報があれば併せてお願いします。

海事振興部次長

確認します。

公益委員

海上輸送の安全に関わる情報の資料１頁に事故種類別の割合がありますが、船舶同士の衝突が令和５年度と比べると３倍以上に増えていて、貨物船も旅客船も船舶同士の衝突が増えているようですが、何か背景などはあるのでしょうか。

海上安全環境部調整官

確認します。

部会長

海難審判庁の事故情報は、全ての合計はこのような件数ではないですよね。大元のデータが少ないからばらついているような気がしますが、確認をお願いします。

その他、特になければ、進行を事務局にお返しします。

海事振興部次長

渕部会長、議事進行をありがとうございました。

本日の部会を最後に退任される委員の皆様に、ご挨拶をいただきます。

【南委員　　挨拶】

【加藤委員　挨拶】

【山中委員　挨拶】

南委員、加藤委員、山中委員におかれましては、長期にわたり当船員部会にお力添えをいただき、誠にありがとうございました。

本日の部会はこれにて終了します。次回の船員部会は、１０月２２日（木）１０時３０分からこの場所で開催します。１０月からスタートします次期も、よろしくお願いします。